



CONTENTS	●平成30年度 国土交通省住宅局関連の予算 重点施策のポイント…p.1	●「第20回東京ジャパン建材会総会」を開催…p.2	●トップ対談…p.3
	●特集！第39回ジャパン建材フェア ジャパン建材による今回の提案コーナー…p.4.～p.5	●第39回ジャパン建材フェア Bulls 注目コーナー…p.7	
	●ご紹介「リフォーム DEPOT」…p.8	●商品情報	●合板天気図

平成30年度 国土交通省住宅局関連の予算 重点施策のポイント

政府は、平成30年度の予算を昨年12月22日に閣議決定しました。
国土交通省住宅局関連予算の重点施策は、
◆既存住宅の質の向上と流通促進による住宅市場の活性化
◆少子高齢化・人口減少に対応した住まい・まちづくり
◆災害等に強い安全な暮らしの実現
◆良質な住宅・建築物の整備等
中でも確認しておきたい施策の概要をピックアップしてご紹介します。

既存住宅の質の向上と流通促進による住宅市場の活性化

〈成果指標〉(住生活基本計画(全国計画)(平成28年3月18日閣議決定)において設定)

- 既存住宅流通の市場規模 4兆円(2013年)⇒8兆円(2025年)
- リフォームの市場 7兆円(〃)⇒12兆円(〃)
- インスペクション後既存住宅売買瑕疵保険に加入した住宅 = 5%(2014年)⇒20%(2025年)
- 既存住宅流通量

施策① 既存住宅流通・リフォーム市場の活性化

『安心・お得』を切り口にストック物件の活用を進めよう！

平成28年に閣議決定された「住生活基本計画(全国計画)」にて重要視されている項目ですが、「売り手と買い手の悩みを解決した『新たな住宅循環システム』の構築を支援する」「若年・子育て世帯等の一次取得者が、少ない負担で住宅を取得できる環境を整備する」を柱としています。平成30年度の予算では、下記4つの施策を策定しています。

！ 必要に応じて適切なリフォームを実施

- 長期優良住宅化リフォームの実施
- 住宅金融機構等による融資

！ 住宅の状態に応じた価格で売買

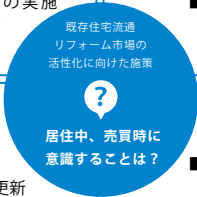
- 個々の住宅の性能や維持管理の状態を踏まえた建物評価等

！ 適切な維持管理を実施

- 履歴の作成・保存等
- 定期的な点検・補修・修繕・更新

！ インスペクション等により安心して住宅を売買

- インスペクション(建物状況調査)の実施
- 既存住宅売買瑕疵保険の加入



施策② 空き家対策の強力な推進

どうする？ なくならない空き家問題

突然ですが、空き家ってどれくらいあると思いますか？平成25年のデータによると、木造一戸建だけでも約220万戸もあります。空き家率は13.5%、これが平成32年には20%に達するとも言われています。

「空き家問題」は私達の業界だけではなく、「地域コミュニティの崩壊・犯罪率の上昇・環境への問題・相続と絡んで管理の問題」など多岐に影響を及ぼします。そのためこの問題は国の中でも重要な課題とされており、今後目を離すことが出来ない項目です。

平成30年度の予算では、空き家を「適正に管理するためのスキーム構築」「事前に空き家の発生を抑制すること」などに支援を行います。

適正に管理をするために
考えたい4つのこと

- 1 解体・撤去
不良住宅・特定空き家等の解体・撤去
- 2 利用
● 用途転換
リフォームにより地域活性化に利用
● 住宅として流用
リフォーム、譲渡、賃貸
- 3 発生防止等
生前・相続時の資産管理
- 4 先駆的な取組等を支援

施策③ 良質な住宅・建築物等の整備等

住宅・建築物の省エネ化等の促進

- ▶ 既存建築物の省エネ改修及び省エネ性能の診断・表示等に対する支援や中小工務店による省エネ性能の高い住宅の整備等を支援
- ▶ 総合的な観点からサステナブルな社会形成を目指すリーディングプロジェクトを支援

地域の良質な木造住宅・建築物の生産体制の強化等

- ▶ 良質な木造住宅の整備の推進(普及事業を行えるよう拡充)
(地域型住宅グリーン化事業を継続)
- ▶ 木造住宅・建築物の施工技能者育成・技術力向上の取組みを支援(住宅省エネルギー技術講習会)
- ▶ CLT等先進的な木造建築技術を活用した住宅・建築物の整備の促進
- ▶ 地域の気候風土に応じた環境負荷の低い木造住宅の建築技術等に係るリーディングプロジェクトを支援

「快適住実の家」新しいコンテンツをご用意して始動中！



地元へ寄り添う親しみやすさと、確かな技術を持った工務店様を支援する会。「あなたの街に『匠(たくみ)』はいます」をブランドメッセージとして、『快適住実の家』は「工務店」が持つ魅力をエンドユーザーに伝えることに全力で取り組んでいきます。

各種申請サポート業務などの後方支援サービスに加え、「新規顧客獲得につながる」PRサポートを充実。より便利で価値のあるサービスを提供してまいります。

■ 公式webサイト (<http://kj-ie.co.jp/>)

■ 月刊誌「快適通信！」創刊 毎月1回発行

■ YOUTUBE 公式チャンネル 公開

こちらのQRコードからご覧いただけます！



平成30年1月17日開催 第20回 東京ジャパン建材会 総会

1都9県に輪を拡げ、業界最大規模を誇るジャパン建材のお客様会「東京ジャパン建材会」による新年恒例の総会が、本年は帝国ホテル東京の会場で約600名の会員・賛助会員が会して開催されました。

第一部 講演会

『文字の力、言葉の力、生きる力』

講師 書道家 武田双雲 氏

プロフィール◆1957年熊本県生まれ。東京理科大卒業後、NTTに就職。約3年後に書道家として独立。NHK大河ドラマ「天地人」や世界遺産「平泉」、世界一のスパコン「京」など数々の題字を手掛ける。独自の世界観で、全国で個展・講演活動を行なっている。



講演の最後にJKホールディングスのキャッチコピー「スマイルが生まれる住まい」を漢字一文字で表す「笑」の10画目を会場に集まった全員の「オー」の唱和と共に書いていただきました。

第二部 総会

篠崎務会長を議長に決議事項が審議され、全会一致で承認されました。



開会の辞
東京ジャパン建材会 副会長
有限会社 染谷材木店
代表取締役社長
染谷 重明 様



会長挨拶
東京ジャパン建材会 会長
株式会社 シノザキ
代表取締役社長
篠崎 務 様
「勝ち負けが明確になるといわれる戊戌年、東京ジャパン建材は、新たな情報や最新の技術を共に勉強する機会をもっていきたいと思います。」と、会運営の抱負を語っていただきました。



JKホールディングス挨拶
JKホールディングス株式会社
代表取締役社長
青木 慶一郎 様
「木材や木質建材の新たな活用分野の拡大に繋がる追い風を受け、業界がもっともっと盛り上がるように皆様と共に需要拡大に努めてまいります。」と挨拶を述べました。



賛助会員代表挨拶
吉野石膏 株式会社
代表取締役社長
須藤 永作 様
「賛助会員のメーカーと共に、より安全で快適な住空間を創造する機能商品を市場に投入、また非住宅での木材・石膏ボードの需要拡大に応え、欠品無く、必要な所に必要な物をお届けしたいと思います。」と、心強いお言葉を頂きました。



ジャパン建材挨拶
ジャパン建材株式会社
代表取締役社長
小川 明範 様
「創業81年目の新たな挑戦、「働き方改革」に積極的に取り組み、「IoTやAIのインテリジェンスの獲得」のために業界外の専門分野の方との交流を推進します。そして、工務店様、そのバックアップをされる販売店様、メーカー様に、さらに私たちが提供する住まいに暮らす方々に笑顔の花が咲くように、私たちは間屋として黒子に徹して参ります。」と、大きな二つの潮目に立ち向かうジャパン建材としての覚悟をお伝えしました。



閉会の辞
東京ジャパン建材会 副会長
株式会社コバヤシ
代表取締役社長
池田 昭義 様



第三部 懇親会

和やかな雰囲気の中で賀詞交歓、親睦を深めました。



挨拶
JKホールディングス株式会社
代表取締役会長
吉田 隆 様



乾杯
東京ジャパン建材会 会長
株式会社 シノザキ
代表取締役社長
篠崎 務 様



中締め
株式会社 ノダ
代表取締役副社長
野田 励 様



Bulls ドライ・イット

物干しを連想させないスタイルで
どんなお部屋にもマッチする壁面物干し

NEW

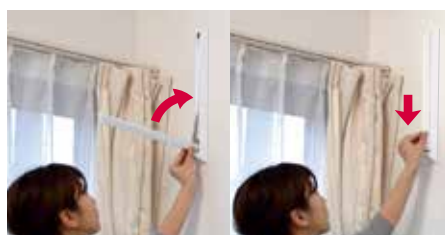
- 木下地なし石膏ボード壁に直接取付け。(木質壁にネジ止めも可能)
- 少量の洗濯物なら竿を設置せずに手軽に干すことができ、使用しない時はアームをスッキリ収納。
- ダンパー機構によりアームがゆっくり開く安全機能付き。
- アームの根元で操作できるので、高い位置に取付けても脚立などを使う必要がありません。



● ネイルを打込んで壁に固定。



● 使用する時・・・アームを取出す。
アームの根元を持って少し上げるとロックが解除
⇒ アームが自動的にゆっくりと下がってきます。



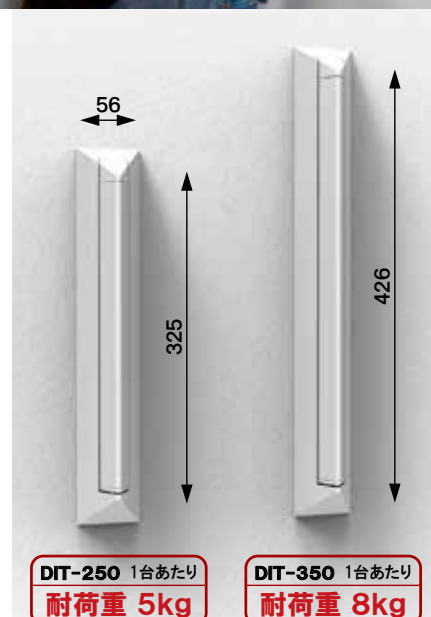
● 使用しない時・・・アームを収納する。
アームの根元を持って回転させて収納
⇒ 少し下げるとロックが掛かります。



● 1本使用でハンガー干し



● 2本使用で竿干し



※ 2本使用時の耐荷重はDIT-250で<10kg> DIT-350で<16kg>です。…耐荷重は物干しハンガー&竿の重さを含めた値です。
※ ハンガー&竿(φ32mm以下のもの)は、別途ご用意ください。 ※ 本製品はネジ固定も可能ですが、木下地の有無を確認して取付けてください。

笠井木材株式会社

【会社概要】
本 社 埼玉県春日部市下蛭田 169
創 業 1971（昭和 46）年
会社設立 1983（昭和 58）年
資 本 金 1,300 万円
従業員数 14 名
年 商 12 億円（2017 年 6 月）

1971（昭和 46）年 現・取締役会長笠井徳之助氏が笠井材木店を個人創業
1983（昭和 58）年 有限会社笠井材木店を設立
2002（平成 14）年 笠井木材株式会社に組織変更
2004（平成 16）年 設計部門として株式会社デュエルデザインを設立



代表取締役社長
笠井 浩 様
かさい ひろし

【プロフィール】
1966（昭和 41）年 東京都に生まれる
1989（平成 元）年 東海大学工学部建築学科卒業
設計事務所に入社
1993（平成 5）年 有限会社笠井材木店に入社
2002（平成 14）年 笠井木材株式会社取締役就任
2004（平成 16）年 株式会社デュエルデザイン
代表取締役を兼務
2010（平成 22）年 代表取締役社長に就任



信頼され、任せてもらえる、地元の町づくりになくてはならない企業であり続けたいと思います。

建材の扱いを本格化

小川 ご創業者は、笠井社長のお父様、笠井徳之助会長ですね。

笠井 はい、昭和 16 年（1941）年生まれの父は、東京都内の大久商店で材木商の修業をして、昭和 46（1971）年に笠井材木店を個人創業しました。

独立前、当時唯一の休みだった日曜日に埼玉県内の土地を見て歩き、間口の広さが気に入って今の本社地に決めたそうです。

小川 笠井社長は、一級建築士資格をおもちですね。

笠井 はい。私は、東海大学工学部建築学科 2 年の時から事務所ビルや店舗ビルを手掛ける設計事務所でアルバイトをしていました。卒業後、そこにそのまま就職して 3 年後に一級建築士資格を取りました。

小川 いずれはお父様の事業を継ぐお気持ちがあって、資格を取得されたのですか。

笠井 そうですね。幼い頃から父の仕事を見ているのが好きでした。だから、後を継ぐことも、私の中では自然な流れでした。

小川 笠井社長が入社される前とされてからを比較して大きく変わった点は、どのようなことでしょうか。

笠井 私が入社するまでは材木といわゆる新建材を中心に扱う会社でした。私が入社して建材の営業を始め、本格的に建材類の扱いを始めたのは、平成 9 年頃に当時のシステム（現・LIXIL）が既製建具の蝶番を三次元化したことで、大工さんでも建具の取付が容易となったことが大きなきっかけだったと思います。同じ頃、水廻り商材も様々な進化を遂げ、我々でも取扱いやすくなったことで、さらに営業商材を拡げていくことが出来ました。

信頼できる人と出会い、人といかに向き合うか

小川 設計にも力を入れていらっしゃいますが、今後の事業領域についてはどうお考えですか。

笠井 今もやりたいことは沢山あります。建設業の事業拡大、及び施工体制を充実させること。材販に関しては営業体制の充実。具体的には、お客様の要望などをいち早く察知し、新しい提案を迅速かつ確実に出るようにすること。など、凡事の徹底が重要なことだと考えています。いずれにしても、報連相がしっかりとできる人材の確保や育成が鍵になってくると思います。

小川 笠井木材様でも元請をされていますが、それはいつ頃からですか。

笠井 本格的に始めたのは設計部門を立ち上げてからです。そもそものきっかけは、地元の工務店様が高齢になって工務店の看板を降ろした後でも、お客様から頼まれるとむげに断れないと、弊社に相談があったからです。また、会社としても創業からの年数を経て、地元の方からも相談を頂けるようになりました。そういった有り難いご要望に応えようと思ったことが最大の理由であったと思います。

小川 そこが、読者の皆様が一番知りたい

ところでもあると思うのですが、材販業者が建築をするという「ルビコン川を渡る」ことを躊躇するのは、お客様と競合する可能性があり、お客様が離れてしまうことを恐れるからですね。笠井木材様の入り方なら、全くその心配はない、逆にお客様を設計や施工で支援するというお立場ですね。

笠井 設計支援と施工支援をして、紹介いただいたお客様に代わって仕事をしているという感じです。実は、私は宅地建物取引主任資格ももっていますが、不動産業は経験がない為、不動産業に自ら踏み込むつもりはありません。当社で設計しているのは、お客様からの紹介や OB 客様からの注文建築のみです。それでも反発される方はいらっしゃいましたが、当社の考え方を話しして理解いただき、そちらからも設計のご相談があり、相乗効果生まれています。

小川 人と人との繋がりの中でお仕事をしていたらっしゃる、ということですね。

笠井 そこです。人といかに向き合うか、私は、そこを抜きにして仕事はできないと考えています。

一方、人を育てることに關しては、性格や素質、若い人の思考傾向にも関係するので難しさを感じています。

例えばミスをした時に、自らのミスを認め、開示し相談して原因を突き止め、これからこうしますと自らの考えを示してくれるような人を育成したい。そういう人でなければ、多種多様なお客様の思いを汲み取れるようなきめ細かい営業は出来ないだろうと思います。

小川 そこは、私たちの企業理念『快適で豊かな住環境の創造』に重なる部分ですね。豊かな住環境とは、どのようなライフスタイルを送りたいのか、趣味や家族構成、目指す将来によってどこを可変できるようにするかまで違ってくると思います。それこそが、コト売りに落とし込む重要な要素ですからね。

二つの会社の経営をはじめ、人の育成も、さらに接客にも笠井社長自ら動いていらっしゃるということですね。

笠井 笠井木材も、デュエルデザインも、通常業務は全て任せています。

ただ、笠井木材で毎年受注している社寺仏閣など特殊物件の工事や、デュエルデザインがディベロッパーさんと提携し、受注している集合住宅などの建築については、その両方の窓口が私なので、私以外にも窓口となる人材を育て、会社の幅を広げたいと考えています。

社寺仏閣で実績を積む

小川 社寺仏閣のような特殊物件となると釘を一本も使わないといった伝統的な木造技術が必要でしょうし、人の手配もさぞ大変でしょうね。

笠井 伝統的建造物や歴史的建造物においても、いわゆる釘を使わない工法だけではなく、構造材に鉄骨を使用したり、トラスを組んだ構造体を利用するなど、幅広い技術を駆使して修復されています。

当社で受注した埼玉県杉戸町の宝性院も江戸中期頃の建物で、その護摩堂の基礎が

東日本大震災でズレたため、修復を頼まりました。その建物も外観は木造建築そのものですが、構造金物や筋かい、構造用パネルを積極的に採用しています。さらに建物を強くすると同時に、基礎の補強も構造計算に基づいて補強を施しました。

小川 興味深いお話ですね。

笠井 当社が社寺建築を始めたきっかけは、地元の寺院本堂建替えを受注してからです。

失敗が絶対に許されない工事でしたが、やり遂げる自信が私にはありました。その自信の根拠は、私が一級建築士資格を取得するに当たって師事した先生で、木造の構造に精通され、現在は博士（工学）となられた佐久間順三先生の協力を得られたことにほかなりません。先生の繋がりで、宮大工さんや社寺建築の現場監督ができる方など、エキスパートの協力を得ることができました。

小川 志や方向性を一つにする方々との出会いや繋がりがあって、お客様の信頼に応える実績が残せた、ということですね。

笠井 やはり人の環が重要だと改めて感じました。一つずつ真面目に取り組んでいると出会いがあり、御協力いただけます。一つひとつ実績を積み重ねて行くことで信頼を得ることができました。

女性が輝ける職場に！！

小川 デュエルデザインさんには優秀な若い女性設計士さんが多くいらっしゃるようですが、特別な採用活動をしていらっしゃるのですか。

笠井 いいえ。特に特別な採用活動はしていません。実は、毎月ある程度売上げを出していくために、地元不動産業者さんからの確認申請業務を受注することにしました。そこからいつの間にか確認申請業務に特化した設計事務所となり、まじめで責任感の強い社員が定着しました。弊社ではたまたまその比率が女子の方が多かったということでしょうか。女性社員の意見を聞き、社内の改革を行う内に、おかげさまで埼玉県の「女性が輝ける職場」評価でプラチナ賞もいただいています。



小川 それはすごいことですね。

笠井 当然、育児休暇があつて復職もできます、さらに、有給休暇も分単位で取れるようにしました。そのほうが、働く人にも、会社にもメリットがあります。

小川 今のお話もそうですが、笠井社長が社内のみなさんを大事にされているのを強く感じます。子連れも OK の居酒屋での車座意見交換の場が出てきたことを業務改善に繋げていらっしゃいますね。

笠井 私がよく言うのは、「私は仕事のきっかけは作れる、しかし実際に頂いた仕事を日々の業務の中で確実にこなし、それを信用に変えてくれるのはみんなだ。だから、又、僕も営業が出来る」と。最初は私への信頼で始まった仕事でも、みんなが失敗しないでやり遂げることによって信頼感が増し、それがまた私への信頼感となって戻ってくる、良い循環が生まれていると思います。

万一、なんらかのミスによりお客様との信頼関係が崩れそうになった時には、それを全力で自らの責任として支えるのが経営者であり、そのような姿勢を示すことが社員との絆を強めることと信じています。

独自性で支持を得る！

小川 設計部門をもっていることのメリットとして、意匠設計をされる際に使用する建材や認定を取っていらっしゃる工法の提案もできる、ということがありますか。

笠井 それはあります。構造の認定工法については、当社の強みとして積極的に販売していきたいと思っています。

一方、材販には今後も価格競争が厳しくなることが予想されますが、当社にしかできないような戸別配送を日々考え努力して、それを強みとしていきたいと思っています。また、設計ができるという武器をもち、実績を積み重ねて信頼を得ていますので、この独自性もおおいに発揮して設計から材販、建築までを担いたいと考えています。

さらに、住宅、非住宅にかかわらずディベロッパーさんとの関係強化や、異業種の方たちとタイアップすることによって特別養護老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等の案件を地主さんに提案するところから総合力を生かしてかかわっていききたいと思っています。

もともと仕事を掘り起こしていくことが私の仕事なので、お客様の取り組みに対して当社が独自性を発揮し、どれだけ支援できるか、協力することができるかが今後の重要なポイントになると思います。

小川 リノベーション市場については、どのようにお考えですか。

笠井 すでにリフォームも手掛けていますし、リノベーション市場は期待できます。

小川 例えば、民泊用古民家再生、シャッター通りをディベロッパーさんや不動産業者さん、銀行さんも巻き込んで進める町のリノベーションについてはどうでしょう。

笠井 そのお話は、夢のある企業として取り組んで行きたいすばらしいことです。しかし、自分が全てを実行することはできませんので、いかに実行できる人たちを多く育てることができるかに係ってくると思います。そのような取り組みが、社会的に必要とされる会社、地元地域社会の活性化に貢献できる会社にしていくということだと考えています。

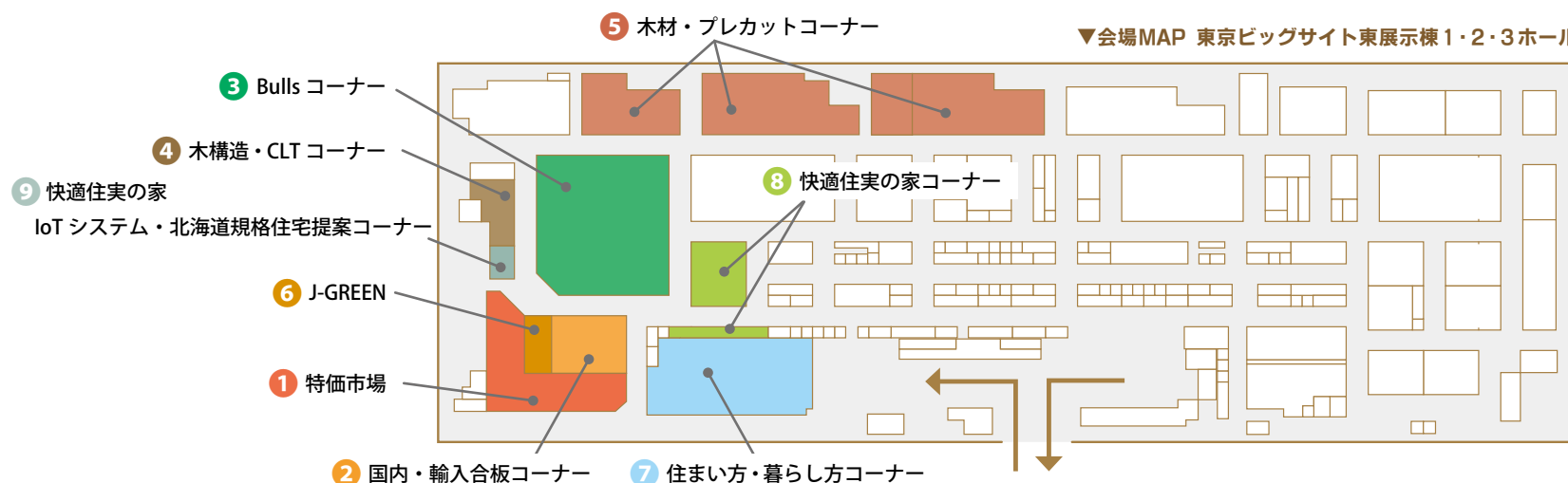
そして、まさにそのことが事業継承に値する会社とすることなのだろうと思っています。

小川 材販から設計、町の活性化まで、盛り沢山のコンテンツでお話を聞かせていただきありがとうございました。

特集！第39回ジャパン建材フェア

ジャパン建材による提案コーナーのご紹介

▼会場MAP 東京ビッグサイト東展示棟1・2・3ホール



① 特価市場

多数メーカー様とタッグを組み、各種建材をお値打ち価格にて販売しております。チャンスは2日間！なくなり次第終了となります。

② 国内・輸入合板コーナー

昨年施行されたクリーンウッド法に則し、合法性が担保された認証材、国産材を中心に商品を展示します。

③ Bulls コーナー

ジャパン建材のプライベートブランドである「Bulls 商品」を一挙に展示。約470アイテムの Bulls 商品に加え、実演紹介も行っております。
(詳しくは7ページをご覧ください)

④ 木構造・CLT コーナー

木質構造製品紹介、設計・施工の提案、構造材・面材・造作材を適材適所に提案します。CLT コーナーでは規格金物を含めた展示、施工事例写真も前回比増の予定です。森林認証・CLT・中大規模木造のセミナーも両日実施いたします。プロのスタッフを配置し、みなさまのご来場をお待ちしております。

⑤ 木材・プレカットコーナー

日本各地の良材産地からの国産材・構造材・化粧材・国内外の森林認証材に見て触れて、木材の良さを感じていただき、プレカットコーナーでは足場を駆使した建て方実演も行います。

⑥ J-GREEN

- 自然環境に配慮した製品を「J-GREEN」として選定し、提案致します。
- 国内および海外においても拡大するグリーン製品需要に応えるべく、広く世の中への普及を目指します。



7 住まい方・暮らし方 コーナー

「住まい方・暮らし方コーナー」とは、1人ひとりが思い描く理想の住まいと暮らしについて考えていただく場です。毎回テーマを決めて、住宅におけるさまざまな考え方を展示しています。「住まい」と「暮らし」

は切り離すことができない存在。ジャパン建材フェアでお買い上げいただく商品（モノ）とともに、住まいづくりに関する情報（コト）をお持ち帰りください。

「住まい方・暮らし方コーナー」の歩み

健康編



第31・32回
「住まいを通じてところからだの健康を」

設計編



第33回「くつろぎの風景」
第34回「性能の先の心地よさ」
第35回「永く住もう」

温熱編



第36・37回「快適な住まいへの道のり」

提案編



第38回「VRなら建てる前に建てられる!？」

構造編

2016年の熊本地震では多くの住宅が倒壊し、大きな被害をもたらしました。一方で、軽微な損傷はあったものの、修繕することで、今も変わらない生活が送れている住まいもあります。

“もう住めない家”と“ずっと住み続けられる家”この2つの違いは为什么呢。

今回の「住まい方・暮らし方コーナー」では、住まいづくりに関して陥りやすいかんちがいを、どうすれば“ずっと住み続けられる家”にできるのかを、M's 構造設計の佐藤氏監修のもと解説していきます。

株式会社 M's 構造設計
代表取締役社長
「構造塾」塾長

佐藤 実氏



学歴・職歴

1968年3月28日生まれ
1990年 東北工業大学工学部建築学科卒業
株式会社佐藤住建を経て
2006年 (株) M's 構造設計設立
2010年 構造塾設立
2010年 東京大学大学院修士課程修了

著書

最高に楽しい木構造入門（エクスナレッジ）
楽しく分かる！木構造入門（エクスナレッジ）

構造塾

2017年度 全国16会場 会員数1000名超
2018年度 全国21会場に増設予定

8 快適住実の家 コーナー

当コーナーは、快適住実の家を代表する関東3社のリーディング工務店様をピックアップして、成功の秘訣やこだわり、成功事例などをご紹介します。皆様にもリーディング工務店を目指して頂ける場を設けています。昨年10月より『快適住実の家』をリニューアルし、従来の工務店様の後方支

援サービスに加え、工務店様の良さをお施主様に伝えていく“営業支援サービス”を充実させて参ります。また【快適住実の家×LIXIL コラボ企画】として、北海道規格住宅とIoTシステムの融合により、住設建材とAIスピーカーを連携させたこれまでにない快適な住生活をご提案します。

リーディング工務店の成功事例紹介ブース

関東3社のリーディング工務店の成功の秘訣、こだわり、成功事例などをパネルや映像を通して学べる特設ブースです。



快適住実の家 特別セミナー

関東3社のリーディング工務店様をお招きしたパネルディスカッションや、営業支援、来年度の国策・補助金情報など、今知っておきたい情報が満載です。



目指せ！リーディング工務店クイズラリー～クイズに答えて商品をゲットしよう！～クイズラリーを通じて、リーディング工務店に必要な条件を学んでもらう企画です。既にリーディング工務店レベルのあなたからも挑戦を待っています。全問正解の方には、豪華景品をプレゼント!!



各業界のプロによる相談コーナー

マーケティングや住宅資金相談など営業支援サービスから、設計・申請サポートやアフターメンテナンスなど後方支援サービスまで各業界のプロがテーマごとに相談会を実施しています。



9 快適住実の家

IoTシステム・北海道規格住宅提案コーナー

北海道仕様の高気密・高断熱住宅のノウハウをパッケージにした高性能住宅と、LIXIL 独自の開発により、住まいをトータルでIoT連携させる新しいシステムとの融合により、快適で便利な住環境をご提案します。



暮らしによりそい、ひとによりそう 室内用専用物干し竿【QL 型】

株式会社 川口技研

川口技研は、「快適な暮らしを創造する」をテーマに安心・安全・使いやすさにこだわった製品づくりを続けています。そのうちのひとつが使いやすさにこだわった、物干金物シリーズ「ホスクリン」。毎日の【物干し】をもっと快適にするためには、便利さを追求するだけではなく、見ていて心地の良いものを目指しました。それが、四角いカタチの【QL 型物干し竿】です。

室内用物干し竿ホスクリンQL 型なら
室内干しのいろんな悩みをクリアできます。



四角いカタチが
“物干し”を
サポート

竿が脱落しにくい段差付き

やわらか
素材を採用



【四角いカタチが物干しをサポート】

四角いカタチにより、ハンガーが竿の2点と接することで、ハンガーの向きを揃えやすくする効果があります。

その為衣類間の風通しの良い状態を保ちやすくし、見た目にも美しく干すことができます。

【インテリアと調和するデザイン】

QL 型は SPC 型をはじめとした室内用ホスクリン・スポット型に合わせてデザインされた物干し竿です。

ホワイトを基調に SPC 型と統一感のあるクロームメッキをアクセントに加えました。



ラスティックデザインのある暮らし

アートクチュール

Art Couture

株式会社 ノダ



フラットデザイン 新発売!

深みのある天然木の風合い。「木目の極み」

天然木のもつ素材感を活かし、化粧シートで、リアルに表現。

木目の持つそれぞれの表情、木肌感が、インテリアに素朴なやすらぎと、深みのある個性をもたらし

「路地裏のレトロカフェ」・「お気に入りの雑貨店」・・・などあなたの思い描く空間へと誘います。



ウォールデコ施工例



シェルフデコ施工例



住宅完成保証の新しい常識

施主様の建築資金を
全額保護

家づくりに必要なお施主様の建築資金を
すべて直接お預かりし、
建築中の工事の中断や事故の有無にかかわらず
取引会社さん・職人さんへ
直接支払される唯一のシステムです。

株式会社ハウス・デポ・ジャパン
www.heart-system.org



おかげさまで、
創業10周年を迎えることができました。

ハウス・デポ・パートナーズ 札幌営業所開設しました!!



長期固定金利住宅ローン
**ハウス・デポ
【フラット35】**



所在地:〒064-0821

北海道札幌市中央区北一条西20丁目1番27号 井門札幌N120ビル3階C号
(地下鉄東西線 西18丁目駅 出口①)

電話:011-632-0035

担当エリア:北海道全域

お問合せ・お申込みは・・・

**HOUSE
DEPOT
PARTNERS**

【三井物産・JKホールディングスグループ企業】

株式会社ハウス・デポ・パートナーズ

フリーダイヤル:0120-887-800

Mail: hdp@housedepot-p.co.jp

担当:営業部 尾崎、伊東、荒谷、北野、伊坂、村田

貸金業登録番号 関東財務局長(1)第01508号
日本貸金業協会会員 第005893号

第39回ジャパン建材フェア Bulls 注目コーナー

毎年恒例の限定販売や注目のお役立ち新商品、話題性のある企画を取り揃えてご提案するコーナーです。

お客様にご満足いただける商品ラインナップを目指して、日々増え続けている Bulls 商品が一同に会するこの機会をお見逃しなく。

ブルズバック コーナー

当日限り、売り切れ御免の大特価

当日限り、売り切れ御免の大好評企画です。日頃からお世話になっているお客様に『お薦めの新商品をお値打ち価格でお試しいただきたい!!』という想いで今回新たなアイテムを追加いたしました。是非お立ち寄りください。



職人 コーナー

作業着の風潮が変わりつつあります。

デザイン性の高い安全靴やヘルメット、機能性の高いアンダーシャツ、腰袋をご紹介します。職人さんが毎日身に着けるものだから、今回もまたおしゃれアイテムを追加してお待ちしています。



床材 コーナー

貼り上がりを感じてください

今回初お披露目となる【L40 直貼りフローアー】、【無垢フローリング ホワイトオーク】、昨年10月よりリニューアル新発売した【セフィラII】を筆頭に、ご好評いただいている【銘木フローラスティック】【ハイパージオ-J】などを実際に商品に触れていただけるよう展示します。床材選びの大切なポイントである、仕上がり、質感を感じてください。



LED 照明 コーナー

照明の数々を会場でご覧ください

シンプルな照明の他、デザイン系の照明も多数展示します。【一棟丸ごとプラン】を構成する照明の数々を会場でご覧ください。また事務所・倉庫用 LED 照明の展示も併せて行います。お気軽にご相談ください。



Bulls テープ

気密・防水用

ブルズの実績と経験が生んだ 粘着テープは気密・防水に効く!

- 安心の高耐久性
- 環境に優しい
- 抜群の手切れ性
- 夏・冬OK
- 多種多様



ブルズクロス011

ブルズクロス031

ブルズクロスSBW

ブルズメッシュMCW

ブルズスパンエース

Bulls

ハイブリッドデッキ

硬く傷つきにくい

熱に強いタフなデッキ材登場!



小学校施工例

大学キャンパス施工例

傷つきにくい
硬くて丈夫

熱や色褪せに強く
長持ち

水や腐食に強く
メンテナンスフリー



ジャパン建材株式会社

〒136-8405
東京都江東区新木場 1-7-2 新木場タワー 11F
TEL : 03-5534-3716 FAX : 03-5534-3856

地域で活躍されている販売店様の事業拡大、業態変化の一環で
新たなビジネスモデルを提案しているボランティアチェーン



リフォームDEPOT

「リフォーム DEPOT」は地域密着型のリフォームショップとして、
販売店様のビジネスを応援しています。

現在、秋田県秋田市から佐賀県唐津市まで、
姉妹店を含めて全国に 12 店舗展開。

経営者の理想や店舗イメージを具現化させる
ボランティアチェーンのため、店舗ごとに
その店ならではの“味”を出すことで
運営側も愛着のわく運営をしています。



店舗面積は 40 坪～ 200 坪。

システムキッチン、ユニットバス、洗面化粧台、トイレといった水廻り住設機器を展示した
ショールームを構え、店舗ごとに季節に合わせてお客様と交流できるイベントを開催。
さらに、ハウス・デポ・ジャパンのハートシステムの利用やリフォームローンもサービス
として施主へ提供し、受注獲得を目指しています。

店舗見学のご希望など、お気軽にお問い合わせください。
ジャパン建材株式会社 営業推進部 リフォーム推進課 TEL：03-5534-0651

合板
天気図



晴れ

ジャパン建材 合板部
部長 猪爪 清和

新設住宅着工戸数

2017 年 11 月度は 84,703 戸（前
年同月比 0.4%減）で 5 カ月連続の
減少となった。その内、木造住宅は
49,926 戸（同比 0.1%減）で 5 カ
月連続の減少となっている。11 月
度の季節調整済年率換算値は 95.1
万戸で前月比 1.9%増、先月の減少
から再びの増加となった。

利用関係別では持家が 24,904 戸
（同比 2.4%減）で 6 カ月連続の減
少、貸家は 37,508 戸（同比 2.9%減）
で 6 カ月連続減少、分譲は 21,882
戸（同比 8.7%増）で 3 カ月ぶりの
増加となった。

分譲の内訳はマンションが
9,052 戸（同比 9.5%増）で 3 カ
月ぶりの増加へ転じ、戸建ては
12,580 戸（同比 7.7%増）と 2 カ
月連続での増加となった。分譲住
宅は増加したが、持家及び貸家が
減少したため、全体で前年同月比
0.4%の減少となった。

建築工法別ではプレハブが
12,326 戸（同比 9.6%減）で 6 カ
月連続の減少、2 × 4 は 10,740 戸
（同比 5.9%減）で 5 カ月連続の減
少となった。

国内合板

11 月の生産量は 28.3 万 m³
（前月比 100.9%、前年同月比
106.6%）と発表された。その内、
針葉樹合板の生産量は 27.1 万 m³
（同比 101.3%、108.1%）となり、
出荷量は 26.9 万 m³（同比 98.3%、
106.5%）となった。出荷量は 3 カ
月連続 26 万 m³以上と高水準を維
持、在荷量はまだ安定的な供給が
望めない水準で推移している。

輸入合板

11 月度入荷量は 27.9 万 m³（前月
比 120.5%、前年同月比 120.3%）
となった。1 ～ 11 月平均の入荷量
は、前年の 105.3%と増加はして
いる。久々に 28 万 m³近い入荷量と
なったが、出荷も好調で港頭在庫
は依然低水準が続いている。少な
くとも現地で雨期が終わる 3 月ま
では、原木不足が原因で入荷減が
継続すると思われる。

2 月以降も国内合板、輸入合板共に
晴れの状態が続く。但し、品薄アイ
テムも多数発生しているので、どち
らも早目早目に手配していきたい。

JK お客様
センター

お聞かせ下さい。お客様の声！
フリーダイヤル 0120 (563) 568 受付時間：平日 8：30～17：20
土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季休暇は、受付を休ませていただきます。

企画
発行

ジャパン建材株式会社 営業推進部
〒136-8405 東京都江東区新木場 1-7-22
TEL:03-5534-3711（代） FAX:03-5534-3855（代）
URL: <http://www.jkenzai.co.jp>